

令和5年2月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和5年2月28日(火) 午後2時00分
閉 会 : 令和5年2月28日(火) 午後2時40分
会 議 場 : 本庁舎3階庁議室

出席委員 : 1番委員 松本 和雄
2番委員 山中 直子
3番委員 大島 隆芳
4番委員 浅海 純一

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 笠原 義浩
事務局次長兼学校指導監 板倉 邦弘
事務局次長兼文化財保護課長 堀 宏行
専門員兼教育総務課長 山越 達也
学校教育課長 磯田 欣央
保健給食課長 井上 夏美
教育研究所長 飛川 成正

書 記 : 教育総務課主幹 大池 伸吾

1 開会宣言

教 育 長 : 令和5年2月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、3番委員及び4番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和5年1月24日に開会された1月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 早いもので、2月も本日のみとなった。日中は、暖かな春の気配を感じる季節となり、寒暖差は大きいですが、今年も卒業の時期にふさわしい陽気となってきた。

1月27日に埼玉県都市教育長協議会が、23年振りに秩父市を会場に行われた。開会行事に続き、県教育局からの情報提供、臨時総会にて欠員であった監事の選出、その後各研究部の研究発表が行われ、午後は、秩父まつり会館の見学、秩父神社の視察を行い、寒い日であったが、権宮司による丁寧な説明をいただき、大変好評であった。

また、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ等の感染症も、児童・生徒の感染は激減してきた。2月22日には、県公立高校の学力検査が行われたが、本市からの受検者は当日の欠席もなく無事に終わり、3月3日の結果を待つのみとなった。

1点、報告する。

秩父地方交通安全協会から、4月に小学校入学予定の令和5年度1年生の児童394名に、交通事故に遭わないよう気を付けて登下校して欲しいという願いを込めて、自動車運転手の目に入りやすい黄緑色のランドセルカバーをいただいた。ランドセルカバーは、各小学校から児童に配布してもらおう予定となっている。

小学校1年生は、入学するまでは保護者や家族の人との外出が中心であったが、小学校への入学とともに多くの児童は、5・6年生を班長とする通学班による集団登校となり、下校は1年生同士で下校することが多くなる。4月当初は、教職員や保護者・地域の見守り隊の方々の協力により、安全確保が図られているが、新入生の人数の少ない学校や地域では、集団での登下校も難しい状況となる。

新入生をはじめ、児童・生徒一人一人の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努めていきたいと思う。

1 番 委 員 : 3点、報告する。

1点目、2月1日と8日に、吉田小学校の授業参観に行ってきた。今回は出席番号の奇数・偶数での時間分けをしなかったため、廊下の方まで大勢の保護者の方が見受けられた。通常の授業参観に戻ってきたと感じた。

2点目、2月3日に、同じく吉田小学校の3年生が今年の9月頃から取り組んでいるミニ龍勢祭の発表会があった。今年は1年生と2年生も見学に来ていたので、3年生が緊張しながらやるのがとても良いと思いながら見ていた。子どもたちの楽しい発想は大人の想像を超えるものがあり、非常に有意義な時間を過ごさせていただいた。

3点目、文化財保護課から案内のあった、2月5日の「秩父市民俗芸能大会」及び「秩父市子ども伝統芸能伝道師称号授与式」に参加した。今までゆっくり見ることがなかった子どもたちの神楽や歌舞伎などを、本当にじっくりと見ることができて、彼らの熱演に心を打たれた。とてもありがたかった。

2 番 委 員 : 1点、報告する

3学期に入り、新型コロナウイルスの感染状況もだいぶ落ち着いてきたように感じる一方で、学級閉鎖の報告もあり、あらためて感染症対策として基本的な感染予防を行っていく必要があると感じている。

先月・今月は中学3年生にとっては、私立・公立の高校受験があり、多くの生徒が各自の進路に向かい頑張っていたことと思う。コロナ禍での中学校生活を過ごし、大変なこともあったと思うが、学校の先生や家庭での保護者の励ましや支えで、受験という大きな山を超えることができたのではと感じている。

また、ほかの学年の子どもたちも、今月は授業参観や個人面談などが多くの学校で行われたようで、学校と保護者で子どもたちの様子を話し合う機会もあり、新学期に向けての準備も進んでいる様子であった。

また、テレビや新聞の報道では卒業式のマスクの情報もあったが、子どもたちや保護者が混乱しないように、情報の周知をお願いしたいと思う。来年度から新型コロナウイルス対策も緩和されるようであるが、その時々において、柔軟な対応をお願いしたいという保護者からの声

もあったので、報告する。

3 番 委 員 : 今月は特に報告はない。

4 番 委 員 : 1点、報告する。

先ほど1番委員からも報告があった、2月5日の秩父市民俗芸能大会に参加した。これほどじっくり子どもたちの芸能活動を見たのは、自分も初めてである。

太鼓クラブの活動、これは以前からいろいろな地域でやっていたものであると思うが、今は小・中学校の総合的な学習の時間を活用して伝統文化の継承が行われていることを実感した。吉田地域、浦山地域は、それぞれ秩父の伝承文化の顔となっていくのであろうと思った。このような活動は、できるだけ色々な地域の人と学校が連携して、秩父の子どもが秩父に定着するよう、自主的なクラブ活動などを通して毎年継承をしていく必要があると思った。

また、自分は「秩父市子ども伝統芸能伝道師」という制度を知らなかったもので、周知・PRの方法がないか考えていただきたい。市民会館のホールに、もっともっと人が入ってもらうよう、ぜひこれからも地道なことであるが、続けて行ってほしいと思う。

(2) 事務局からの報告事項

事 務 局 長 : 1点、報告する。

秩父市議会3月定例会は、先週2月21日に開会し、3月16日に閉会するまでの24日間を予定している。

議案は、専決処分が1件、字の区域変更が1件、条例の一部改正が9件、条例の新規制定が1件、補正予算が8件、新年度予算が10件の、計30件が付議された。このうち、教育委員会では、「秩父市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」を上程した。これは、厚生労働省令の改正に伴い、いわゆる学童保育室の運営に関して、「安全計画及び業務継続計画の策定義務」「自動車を運行する場合の利用者の所在確認義務」「衛生管理」等の安全基準を向上させる内容の改正である。

次に、補正予算に関しては、今年度の事業が終了し事業費の最終見込みがついたことによる減額補正が主なものであるが、増額分としては、久那幼稚園の園児送迎用バスへの安全装置を付けるための予算(18万円)を計上した。また、学童保育室の運営に際して交付される国の交付金、及び県の補助金について、平成29年度から令和2年度までの4年間に、過大に交付を受けていたことが明らかになったことによる国及び県への返還金として合計8,419万2千円を計上している。

次に、新年度予算の主なものでは、

- ・南小学校校舎の大規模改造工事に係る実施設計委託料(1,600万円)

- ・尾田蒔中学校体育館の大規模改造工事に係る耐力度調査及び実施設計委託料（1,150万円）
- ・大田中学校外壁改修工事費（1,821万円）
- ・ICT技術支援業務委託料（1,200万円）
- ・学校給食調理・洗浄・配膳業務委託料（1億7,662万円）
- ・給食費の公会計化に伴う賄材料費（2億7,506万円）
- ・緑の少年団活動助成金（210万円）
- ・萩平歌舞伎舞台茅葺屋根葺き替え工事（869万円）
- ・秩父祭屋台保存修理工事（本町屋台腰支輪彩色、本芸座仮芸座保存修理一式2,901万2千円）などが新年度特筆すべき予算となる。

その他、各小中学校、幼稚園で、例年、必要となる経費につきましては、高騰する電気料光熱水費の大幅増額を含め予算計上している。

なお、議会開会日には、市長が令和5年度の施政方針を発表した。子育て支援策の充実を取組の基本方針のひとつに位置づけ、教育分野では、「計画的に学校施設の整備を進めるとともに、基礎学力の向上、教育相談機能の強化を図る」と述べられた。

学校指導監： 2点、報告する。

1点目は、秩父市教育委員会・北部教育事務所の教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問についてである。

今年度は、6月4日から始まり、今月2月6日まで市内全ての小・中学校と久那幼稚園の訪問を実施した。指導主事が、教員の指導力の向上について、指導助言を行った。

2点目は、令和5年度埼玉県公立高等学校入学者選抜についてである。昨日、2月22日に学力検査が実施され、本日2月24日に実技検査・面接試験が実施された。入学許可候補者の発表は3月3日に行われる。新型コロナウイルス等により受検ができなかった生徒については、3月6日に追試験が行われ、3月8日に結果発表という予定であったが、市内中学校に該当の生徒はいない。

文化財保護課長： 2点、報告する。

1点目、旧秩父駅舎の開館についてである。

聖地公園内に移築してある国の登録有形文化財「旧秩父駅舎」を、春のお彼岸の時期を中心に無料休憩所として開館する。開館期間は、3月18日から22日の午前10時から午後4時までである。室内には、秩父鉄道関係資料の他、乗物の資料を展示している。

2点目、各地の春祭りについてである。

3月から4月にかけて、各地の神社で、五穀豊穰を願う春祭りが行われるが、未だに新型コロナの影響で中止となる行事もある。その中で、3月12日に予定されている恒持神社の春祭りは、4年ぶりに行われることになり、市指定の有形民俗文化財である恒持祭屋台・笠鉾3基が

公開される。なお、3基のうち、大綱の笠鉾は、国からの助成金を活用して修理を行っている。また、3月26日中蒔田椋神社の市指定無形民俗文化財「中蒔田椋神社の神楽」も3年ぶりに行う予定となっている。

残念ながら、3月5日上蒔田椋神社の埼玉県指定無形民俗文化財「御田植祭」、3月12日荒川白久、神明社の市指定無形民俗文化財「神明社神楽」は中止となった。

教育総務課長 : 1点、報告する。

当課で契約している主な委託事業についてである。

まず、学校管理費の委託として・シルバー人材センターで校務員の用務業務委託、尾小・吉小・荒西・影小・荒中でのスクールバス運行委託、草刈作業委託(1校当たり年3日)、除雪作業委託の契約を行っている。

また、施設維持管理事業の委託として、警備委託(小学校防犯画像監視警備含む)、窓ガラス清掃委託、受水槽清掃委託、消防設備等点検委託、エレベーター給食用ダムウォーター保守点検委託(毎月)、電気保安業務委託、植栽整備委託(年1回)、浄化槽保守点検・清掃委託、プールろ過装置保守点検委託(プール開始前と終了後)、トイレ便器清掃委託(年1回)、遊具点検業務委託等、年間で様々な業務を委託契約している。

新年度予算にも計上したが、今後についても、子どもたちや教職員にとって安心で安全な学校環境の整備を行っていきたいと考えている。

学校教育課長 : 3点、報告する。

1点目、学校及び学童保育室関係の会計年度任用職員の人事評価を行った。現在、来年度の会計年度任用職員の体制整備に努めており、新年度予算が可決した場合には、令和4年度と同程度の人数規模の会計年度任用職員を配置し、学校運営の補助並びに学童運営を行っていく予定である。現在、学童保育室の指導員等の応募が少なく対応に苦慮している状況であり、様々な広報媒体を使って人員確保に努めていきたいと考えている。

2点目、久那幼稚園の状況についてである。

本年度の久那幼稚園の在籍は4名と人数が少ない状況であり、現在、卒業者と令和5年度入園予定者がいないため、来年度も4名と少ない状況が続く予定である。なお、公立幼稚園は、令和3年度から久那幼稚園1園のみの運営となっており、久那幼稚園も今年度入園した年少の園児3名が卒園する令和6年度末に閉園が予定されている。残された幼稚園生活を、園児一人一人を大切に、生き生きと活動できる場所づくりに努めていきたい。

3点目、事務局長からも報告があった、学童保育室における国・県からの助成金約8千万円の返還についてである。

返還の理由は、土曜日の学童保育において、「支援単位ごとに2人以

上の支援員等を配置する」とした交付金の対象要件が満たされていなかったためである。平日に比較して土曜日の利用者が極端に少なく数名の利用者しかいなかったため、2人の支援員を早番に1人、遅番に1人としたシフト制で運営を行っていたが、この運営が「2人以上の支援員等の配置」には該当しないと解されたものである。当課としては、多大なる返還金が生じたことについて、大変申し訳なく思っており、今後は補助金の対象要件をしっかりと確認して、業務に当たっていく所存である。

なお、土曜保育は、令和4年9月下旬から再開したが、指導員等にも周知を行い、現在は常時2名の配置体制をとって保育を行っている。

なお、このような運営を多くの自治体で行っており、県内でも63市町村中20市が返還金の該当となっている。

保健給食課長 : 1点、報告する。

2月中における児童生徒及び教職員の感染症の感染状況についてである。

新型コロナウイルス感染症については、1月23日現在、感染者は小学生33人、中学生17人、教職員7人で、学級閉鎖は小学校2学級、中学校1学級で、学年閉鎖は小学校1学年である。感染経路については、経路不明が80%を占めている。

インフルエンザについては、感染者は小学生38人、中学生13人で、小学校では学級閉鎖1学級、学年閉鎖1学年であった。

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ共に感染人数はだいぶ落ち着いてきているが、引き続き注視していきたいと思う。

教育研究所長 : 2点、報告する。

2月8日に第3回ICT活用教育推進委員会をオンラインにて開催した。

今回は、埼玉県教育局県立学校部ICT教育推進課主催の「市町村プロジェクト第1回現職教員ネットワーク協議会」に参加してもらった3名の先生方の参加報告及び自校での実践報告を実施した。

内容としては、情報活用能力（端末操作・モラル）について、校内のICT活用へ向けた取組について、授業における効果的な使用についての報告をそれぞれ20分程度報告してもらった。

参加者の感想をいくつか紹介する。

「情報モラルについて、機会を逃さず指導をしていくことが大切だと感じた。また、教員が正しい知識を持っていることも大切であると感じた。」

「ICT通信やZOOMでの面談等、参考になるものがたくさんあった。授業等に役立つアプリケーションソフトの紹介があり、研修が終わったあと、すぐに使ってみた。今後も、上手に活用して学校行事につな

げていきたい。」

「文字の大きさや配色などユニバーサルデザインの視点を忘れないようにしたい。ルーブリックを作成してのレポート評価については初めて知り活用できる場面を検討したい。」

「様々な取り組みを知ることができた。校内研修等を通して学校へ周知していきたい。また、来年度に向けて、積極的に使用できるように準備をしていきたい。」

積極的な取組の様子が伝わった。今後も引き続き、ICTの活用について研究を進めていく。

2点目、前回の定例会で報告した「英検ナイトスクール 夜勉」に関し、秩父市歴史文化伝承館を準会場として開催した第3回英語検定では、受験者の約66%が合格となった。次年度以降も、広報等を進め受講者や英語への学習意欲向上に取り組んでいく。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教 育 長 : 議案審議に関わる議題は、今回、特にない。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、6件の協議をお願いします。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認することでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いします。

(2) 2月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 3月教育委員会定例会について、3月28日午後2時から本庁舎3階庁議室において開催することを御提案させていただきます。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、3月教育委員会定例会については、3月28日午後2時から、本庁舎3階庁議室にて開催する。

8 その他

各 委 員 : 特になし。

事 務 局 : 3点、事務連絡を申し上げる。

1点目、総合教育会議が、3月23日15時から、秩父市役所4階第1・第2委員会室において開催されるので、出席をお願いします。

2点目、再度の連絡ではあるが、市内小・中学校の卒業式、入学式は来賓を招かず実施する予定となっている。

3点目、教職員退職者辞令交付式を3月31日11時から、教職員就任式を4月3日13時30分から、それぞれ開催するので、出席をお願いします。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。

以上をもって、秩父市教育委員会2月定例会を閉会する。